

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2021年4月29日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。
本資料の正式言語は英語であり、その内容・会社については英語が優先します。

Caterpillar が 2021 年第 1 四半期及び通年業績を発表

- 売上高は 12% 増
- 1 株当たり利益は 2.77 ドル、調整後 1 株当たり利益は 2.87 ドル
- 強固な財務状況：今第 1 四半期末の全社現金残高は 113 億ドル

(単位：10 億ドル、但し 1 株当たり利益除く)	第 1 四半期	
	2021	2020
売上高	\$11.9	\$10.6
1 株当たり利益	\$2.77	\$1.98
調整後 1 株当たり利益	\$2.87	\$1.65

イリノイ州ディアフィールド発) —Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2021 年第 1 四半期の業績を発表しました。売上高は 119 億ドルで、前年同期の 106 億ドルに比べて 12% 増となりました。この売上増は、エンドユーザー需要が拡大したことに加え、ディーラー各社が在庫を変更し、今第 1 四半期に前年同期よりも在庫を拡大したことに起因します。

営業利益率は 15.3% (前年同期：13.2%)、1 株当たり利益は 2.77 ドル (前年同期：1.98 ドル)、調整後 1 株当たり利益は 2.87 ドル (前年同期：1.65 ドル) でした。なお、今四半期の調整後 1 株当たり利益からは、前年同期同様、事業再構築費用が除外されています。ただし、前年同期の調整後 1 株当たり利益からは、事業再構築費用に加え、米国以外の国・地域の年金債務を支払ったことを受けた再測定による 1 株当たり 0.38 ドル分の利益が除外されています。GAAP 以外の財務測定値に対応する GAAP 測定値の調整については、* 付属資料 12 ページをご覧ください。

本年 3 月 31 日を末日とする第 1 四半期 3 か月間の全社営業キャッシュフローは 19 億ドルでした。結果、今四半期末の全社現金残高は 113 億ドルとなりました。

Caterpillar の Jim Umpleby（アンプレビー）会長兼 CEO は次の様に述べています。「世界中の社員がお客様へのサービスを継続する中で力強い業績を達成してくれたことを誇らしく思っています。改善しつつあるエンドマーケットの状況に勇気づけられ、当社は先を見越してサプライチェーンのリスクに対応しています。また、献身的な社員たちが、『長期的な収益性の高い成長』に向けた当社戦略を継続的に実行しています」。

以上

* <https://www.caterpillar.com/content/dam/caterpillarDotCom/releases/1q21/1q21-caterpillar-inc-financial-results.pdf>

キャタピラー社について：

Caterpillar Inc.は、1925 年以來お客様がより良い世界を構築できるよう支援してきました。持続可能な進歩を可能にし、すべての大陸で前向きな変化を推進しています。2020 年の売上は 417.5 億ドルで、Caterpillar は建設及び採掘設備、ディーゼルおよび天然ガスエンジン、産業用ガスタービン、ディーゼル電気機関車の世界有数のメーカーです。製品ライフサイクル全体を通じて提供されるサービス、最先端のテクノロジー、および数十年にわたる製品の専門知識により、Caterpillar は他とは一線を画しは、お客様の成功を支援する卓越した価値を提供します。同社は主に、建設業、資源産業、エネルギー・運輸の 3 つの主要セグメントを通じて事業を展開しており、金融商品セグメントを通じて金融及び関連サービスも提供しています。また、1963 年以來、Caterpillar 社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。